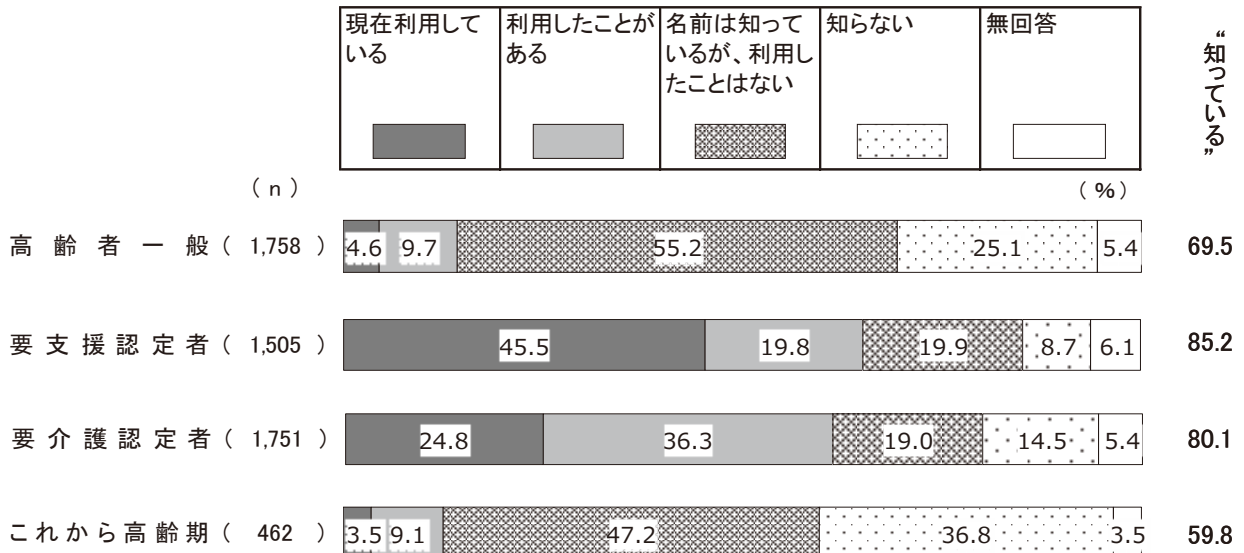


8. 地域包括支援センター

(1) 地域包括支援センターの認知度

○ “知っている”（「現在利用している」、「利用したことがある」、「名前は知っているが、利用したことはない」の合計）は、高齢者一般で69.5%、要支援認定者で85.2%、要介護認定者で80.1%、これから高齢期で59.8%となっている。

○いずれの調査でも “知っている” が「知らない」を上回っている。



[地域包括支援センターの認知度<性・年代別(高齢者一般)>]

○性・年代別にみると、「前期高齢者」および「後期高齢者」とともに「女性」は、“知っている” が「男性」と比べて高くなっている。

	n	現在利用している	利用したことがある	名前は知っているが、利用したことはない	知らない	無回答	知っている (%)
全体	1,758	4.6	9.7	55.2	25.1	5.4	69.5
男性・前期高齢者 (65歳-74歳)	294	1.4	6.5	46.3	42.2	3.7	54.2
男性・後期高齢者 (75歳以上)	392	4.3	4.6	55.1	32.7	3.3	64.0
女性・前期高齢者 (65歳-74歳)	352	2.0	11.9	62.2	19.3	4.5	76.1
女性・後期高齢者 (75歳以上)	666	7.4	13.1	56.5	16.5	6.6	77.0

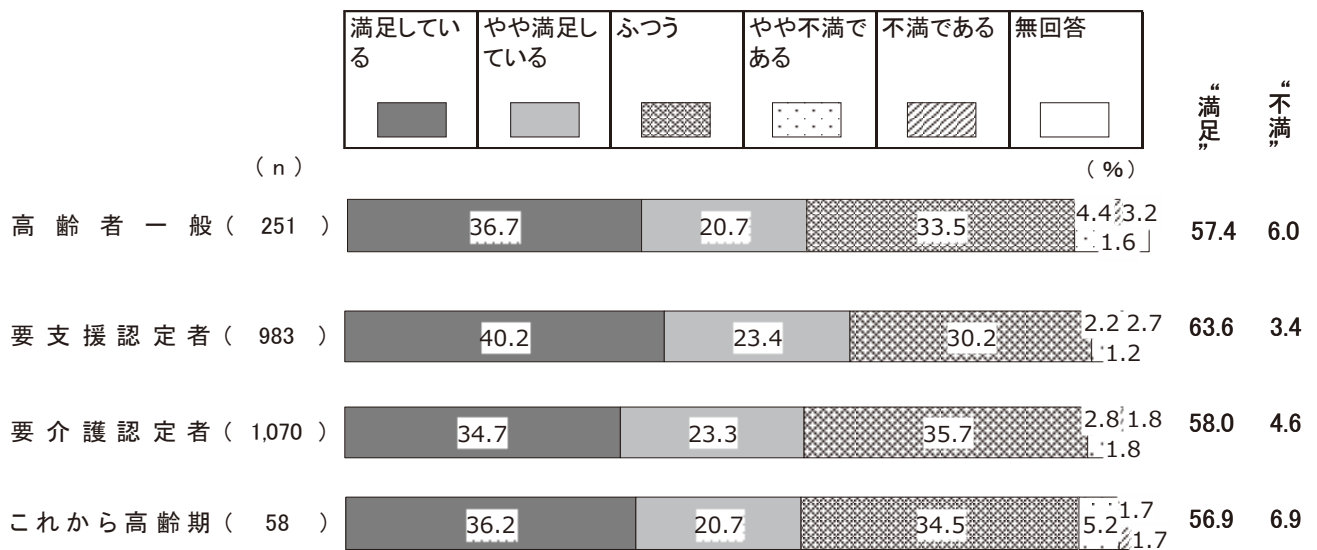
[地域包括支援センターの認知度<経年比較(高齢者一般)>]

○令和4年度の調査結果と比較すると、“知っている”が6.6ポイント高くなっている。

	n	現在利用している	利用したことがある	名前は知っているが、利用したことはない	知らない	無回答	知っている
令和7年度	1,758	4.6	9.7	55.2	25.1	5.4	69.5
令和4年度	1,516	2.9	7.0	53.0	32.3	4.7	62.9

(2) 地域包括支援センターの満足度

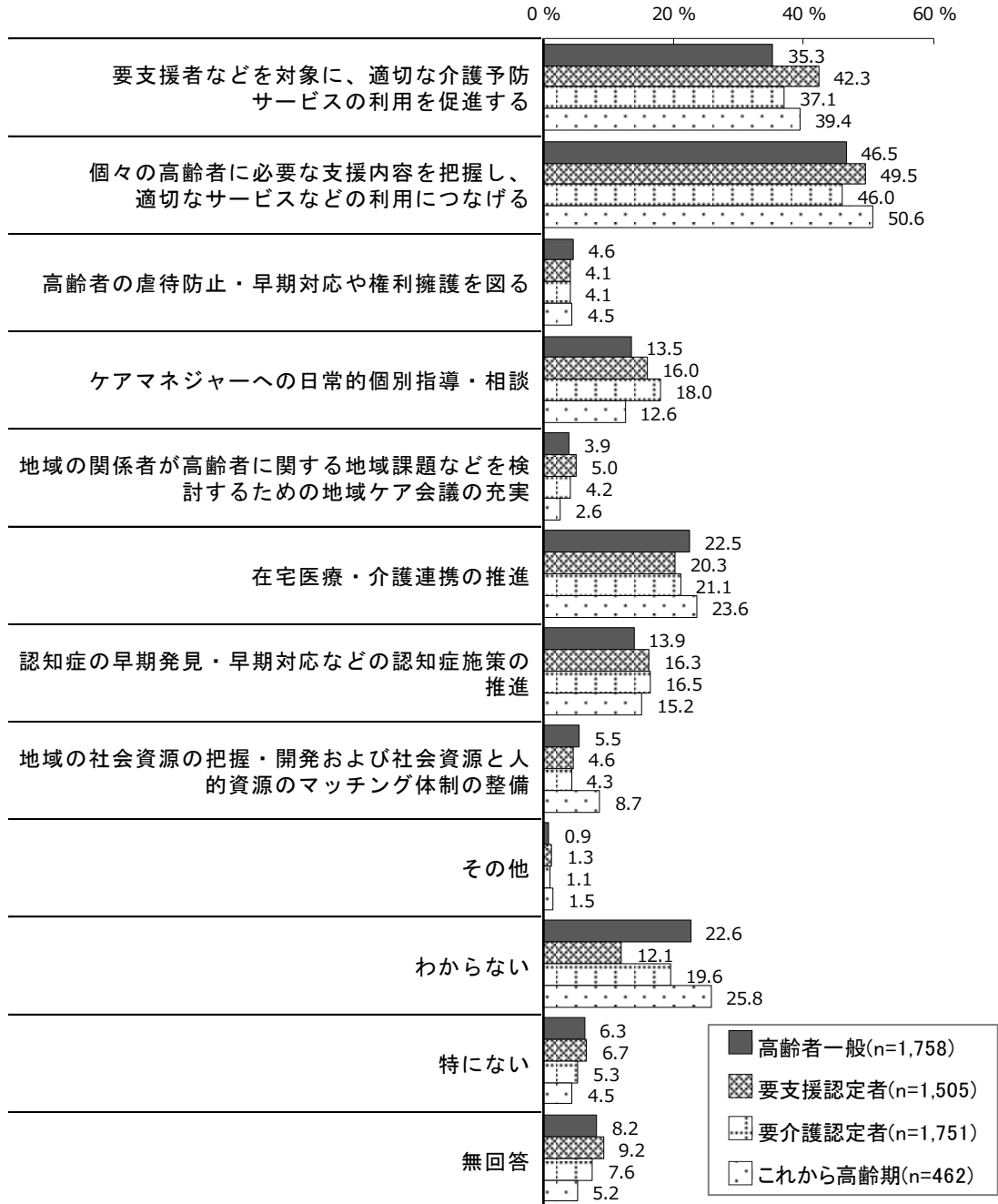
○地域包括支援センターを利用したことがあると回答した人の満足度は、“満足”(「満足している」と「やや満足している」の合計)が、高齢者一般で57.4%、要支援認定者で63.6%、要介護認定者で58.0%、これから高齢期で56.9%と、“不満”(「不満である」と「やや不満である」の合計)を上回っている。



(3) 地域包括支援センターに期待する役割

○いずれの調査でも「個々の高齢者に必要な支援内容を把握し、適切なサービスなどの利用につなげる」が最も高く、高齢者一般で46.5%、要支援認定者で49.5%、要介護認定者で46.0%、これから高齢期で50.6%となっている。

(○は3つまで)

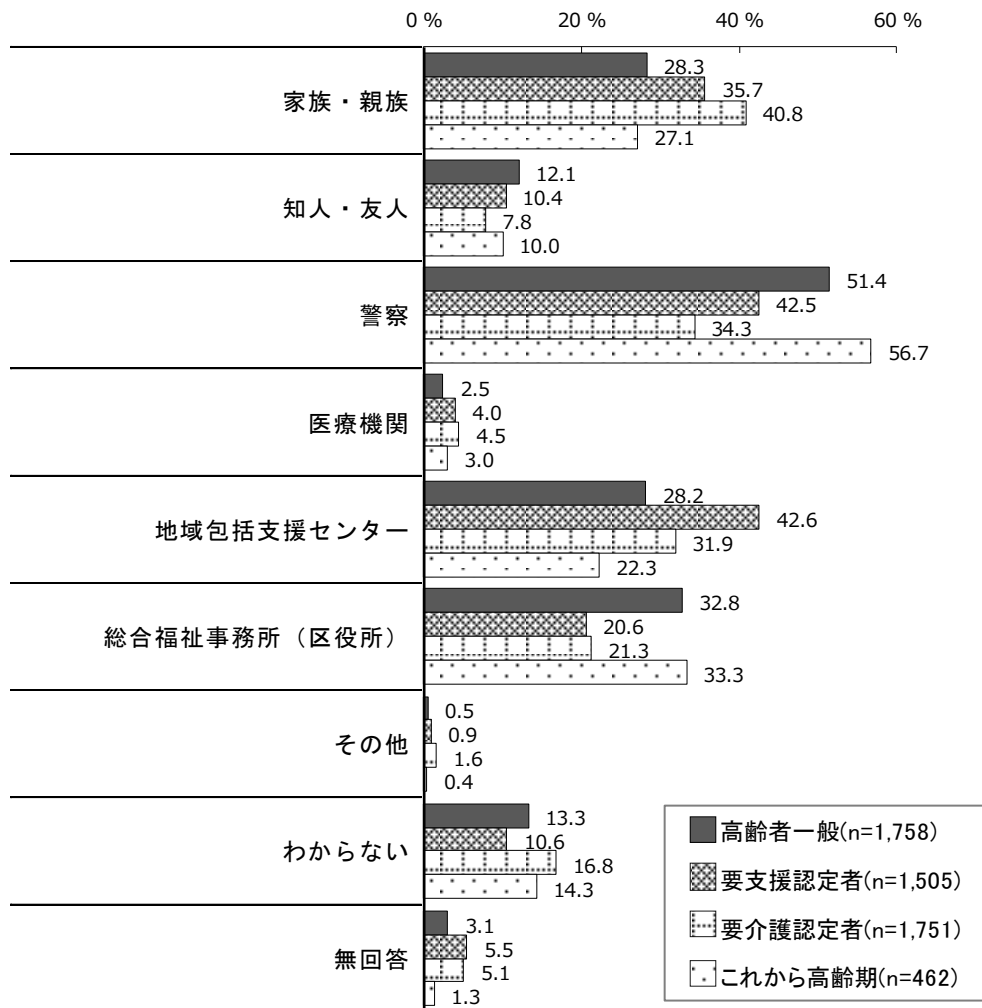


(4) 高齢者の虐待

①高齢者虐待の相談先

- 高齢者一般では、「警察」(51.4%)が最も高く、次いで「総合福祉事務所(区役所)」(32.8%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「地域包括支援センター」(42.6%)が最も高く、次いで「警察」(42.5%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「家族・親族」(40.8%)が最も高く、次いで「警察」(34.3%)の順となっている。
- これから高齢期では、「警察」(56.7%)が最も高く、次いで「総合福祉事務所(区役所)」(33.3%)の順となっている。

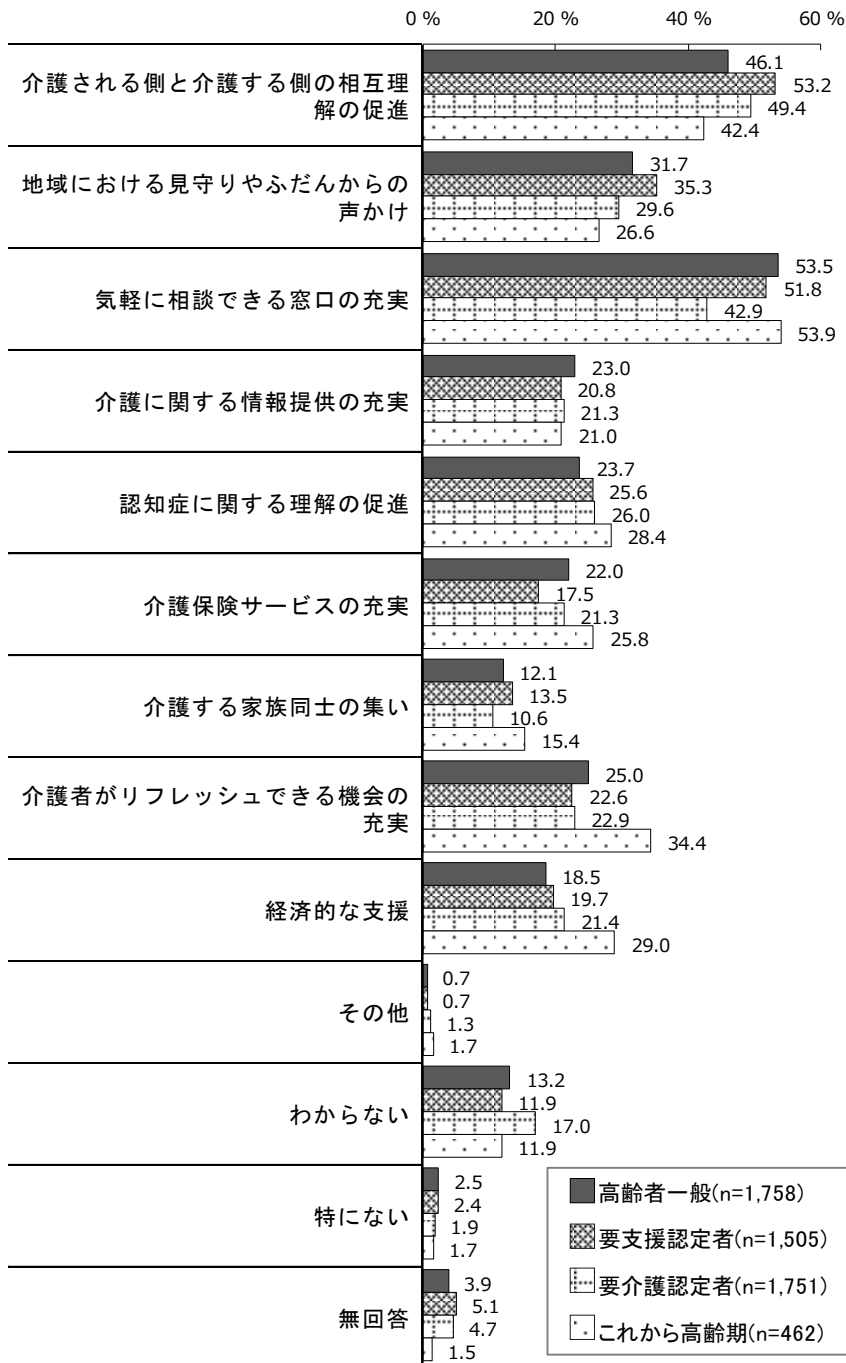
(複数回答)



②高齢者虐待を防止するために必要なこと

- 高齢者一般では、「気軽に相談できる窓口の充実」(53.5%)が最も高く、次いで「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(46.1%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(53.2%)が最も高く、次いで「気軽に相談できる窓口の充実」(51.8%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(49.4%)が最も高く、次いで「気軽に相談できる窓口の充実」(42.9%)の順となっている。
- これから高齢期では、「気軽に相談できる窓口の充実」(53.9%)が最も高く、次いで「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(42.4%)の順となっている。

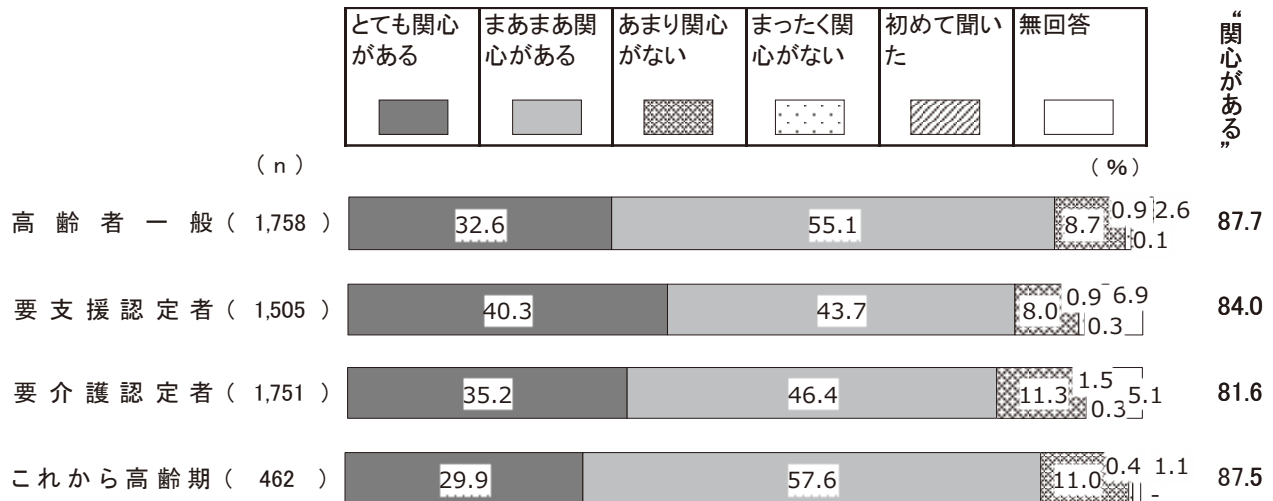
(複数回答)



(5) 認知症

①認知症への関心の程度

○“関心がある”（「とても関心がある」と「まあまあ関心がある」の合計）は、高齢者一般で87.7%、要支援認定者で84.0%、要介護認定者で81.6%、これから高齢期で87.5%となっている。



[認知症への関心の程度<性・年代別(高齢者一般)>]

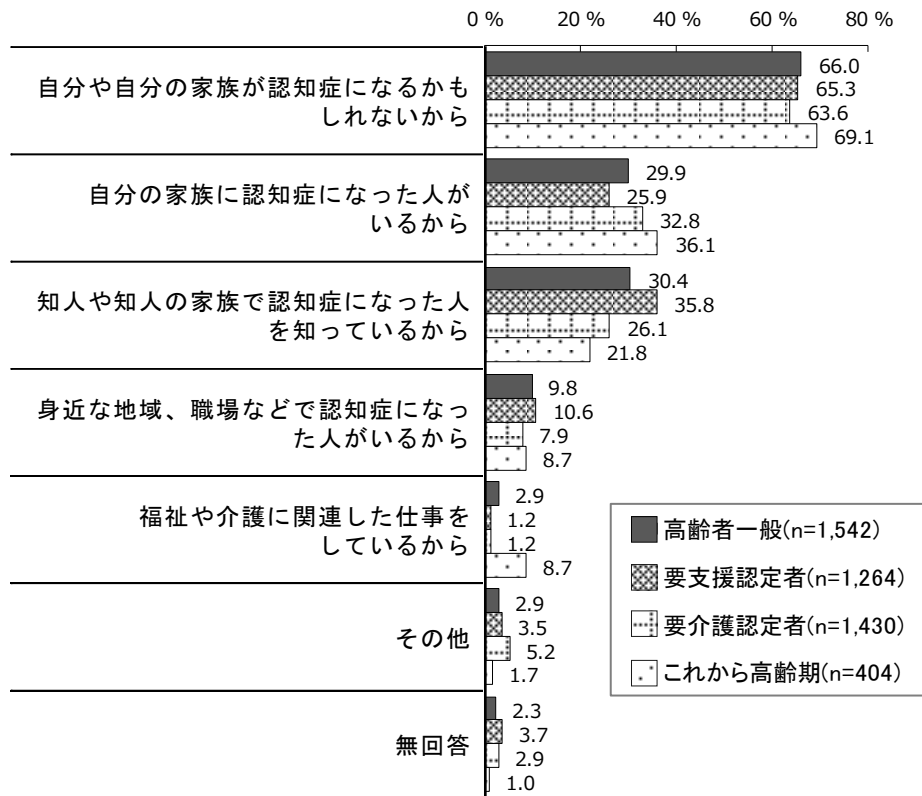
○性・年代別にみると、大きな違いはみられない。

	n	(%)						関心がある
		とても関心がある	まあまあ関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	初めて聞いた	無回答	
全体	1,758	32.6	55.1	8.7	0.9	0.1	2.6	87.7
男性・前期高齢者 (65歳-74歳)	294	23.5	63.3	11.6	1.0	-	0.7	86.8
男性・後期高齢者 (75歳以上)	392	30.4	53.3	13.0	1.3	0.3	1.8	83.7
女性・前期高齢者 (65歳-74歳)	352	27.6	63.4	6.0	0.6	-	2.6	91.0
女性・後期高齢者 (75歳以上)	666	40.4	49.4	5.9	0.9	-	3.5	89.8

②認知症に関心がある理由

- 認知症に関心があると回答した人の理由は、高齢者一般では、「自分や自分の家族が認知症になるかもしれないから」(66.0%)が最も高く、次いで「知人や知人の家族で認知症になった人を知っているから」(30.4%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「自分や自分の家族が認知症になるかもしれないから」(65.3%)が最も高く、次いで「知人や知人の家族で認知症になった人を知っているから」(35.8%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「自分や自分の家族が認知症になるかもしれないから」(63.6%)が最も高く、次いで「自分の家族に認知症になった人がいるから」(32.8%)の順となっている。
- これから高齢期では、「自分や自分の家族が認知症になるかもしれないから」(69.1%)が最も高く、次いで「自分の家族に認知症になった人がいるから」(36.1%)の順となっている。

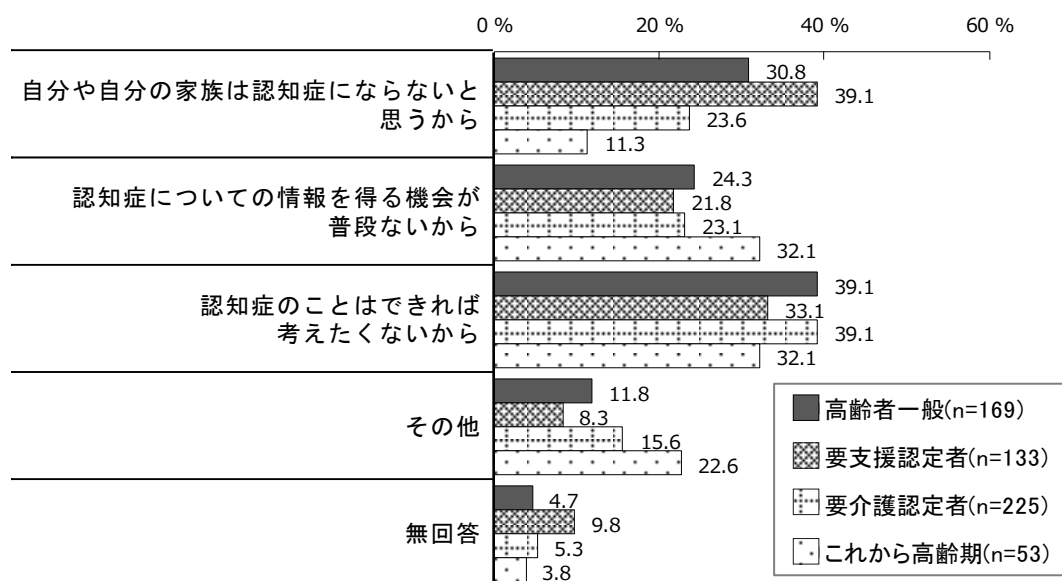
(複数回答)



③認知症に関心がない理由

- 高齢者一般、要介護認定者では、「認知症のことはできれば考えたくないから」が最も高く、どちらも39.1%となっている。
- 要支援認定者では、「自分や自分の家族は認知症にはならないと思うから」が最も高く、39.1%となっている。
- これから高齢期では、「認知症についての情報を得る機会が普段ないから」および「認知症のことはできれば考えたくないから」が最も高く、ともに32.1%となっている。

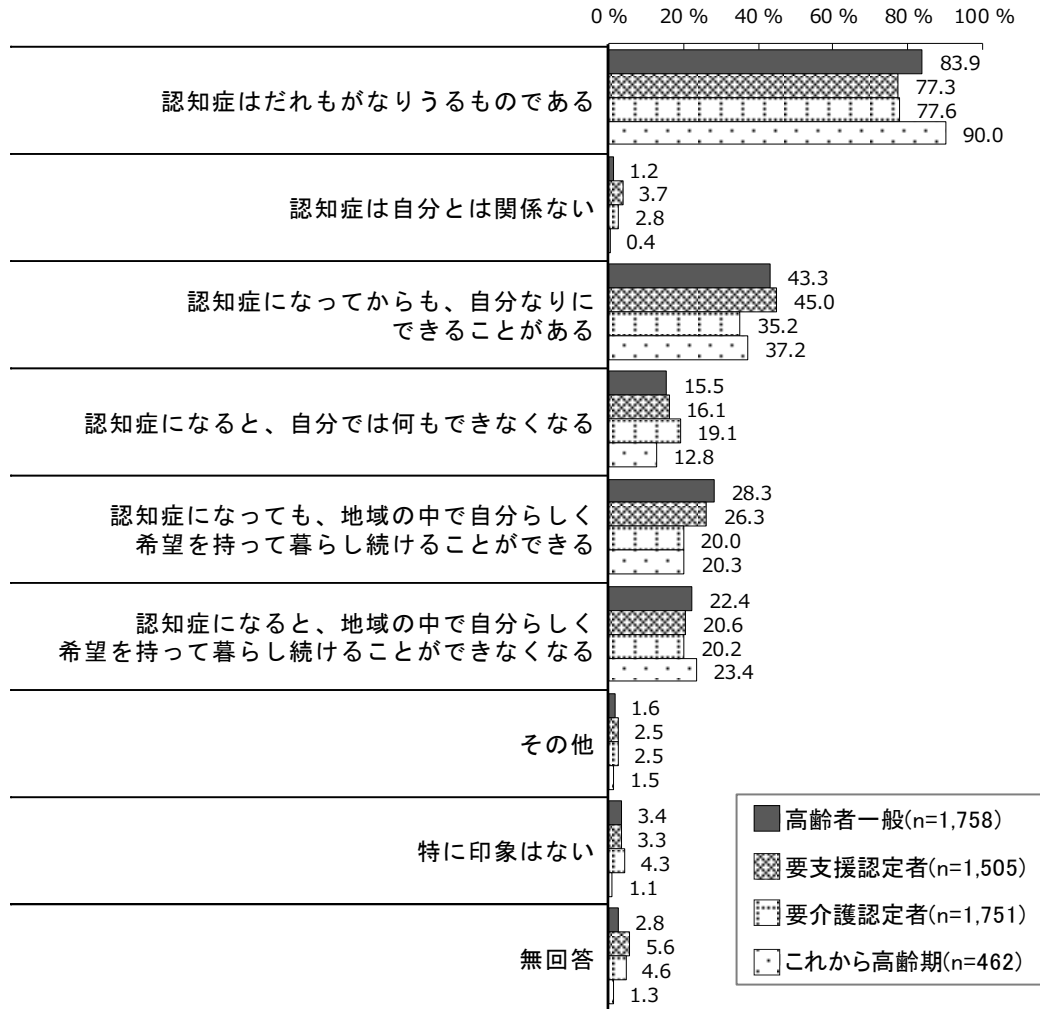
(複数回答)



④認知症の印象

○いずれの調査でも「認知症はだれもがなりうるものである」が最も高く、高齢者一般で83.9%、要支援認定者で77.3%、要介護認定者で77.6%、これから高齢期で90.0%となっている。

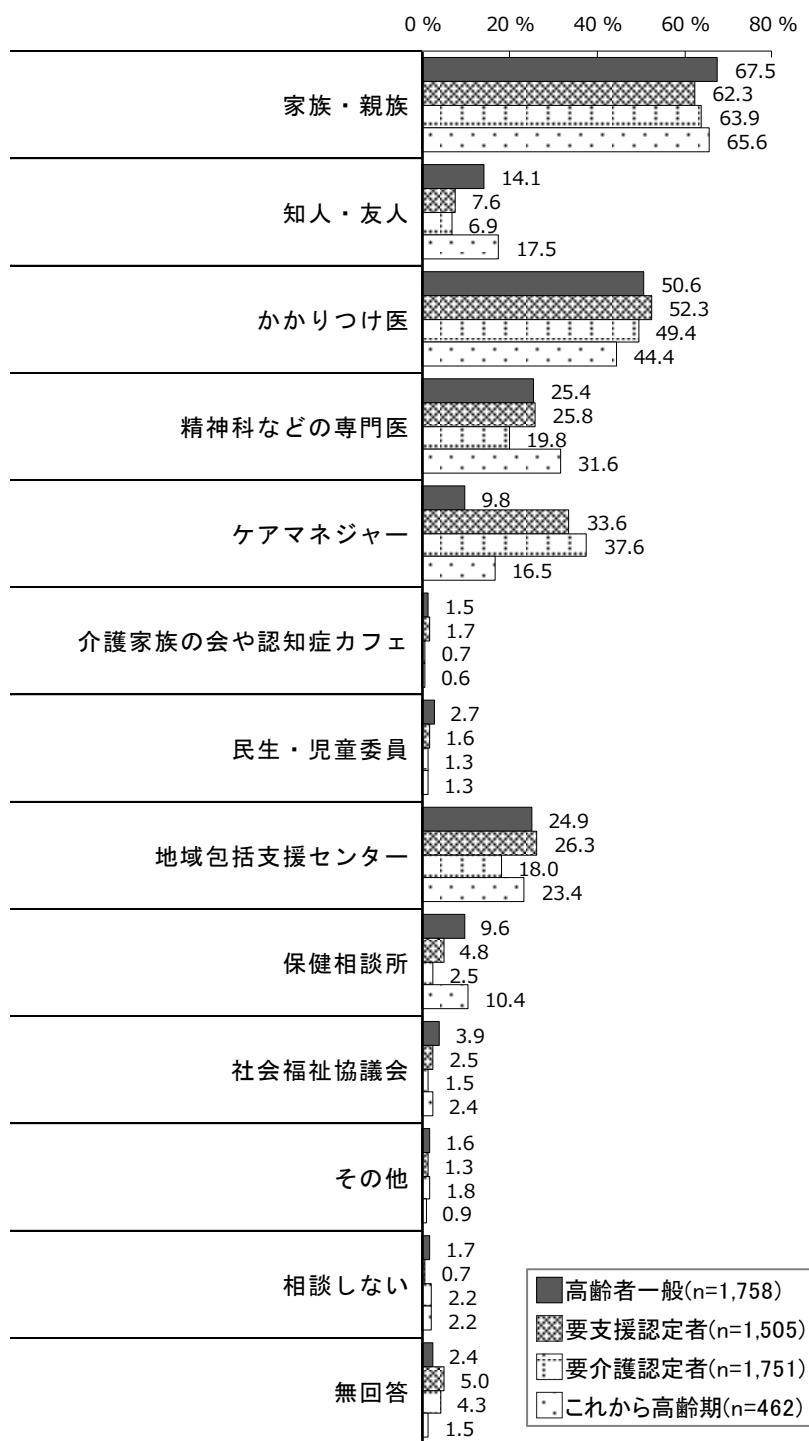
(複数回答)



⑤認知症ではないかと感じたときの相談先

- いずれの調査でも「家族・親族」が最も高く、高齢者一般で67.5%、要支援認定者で62.3%、要介護認定者で63.9%、これから高齢期で65.6%となっている。
- 「ケアマネジャー」は要支援認定者が33.6%、要介護認定者が37.6%と他の調査と比べて高くなっている。

(複数回答)

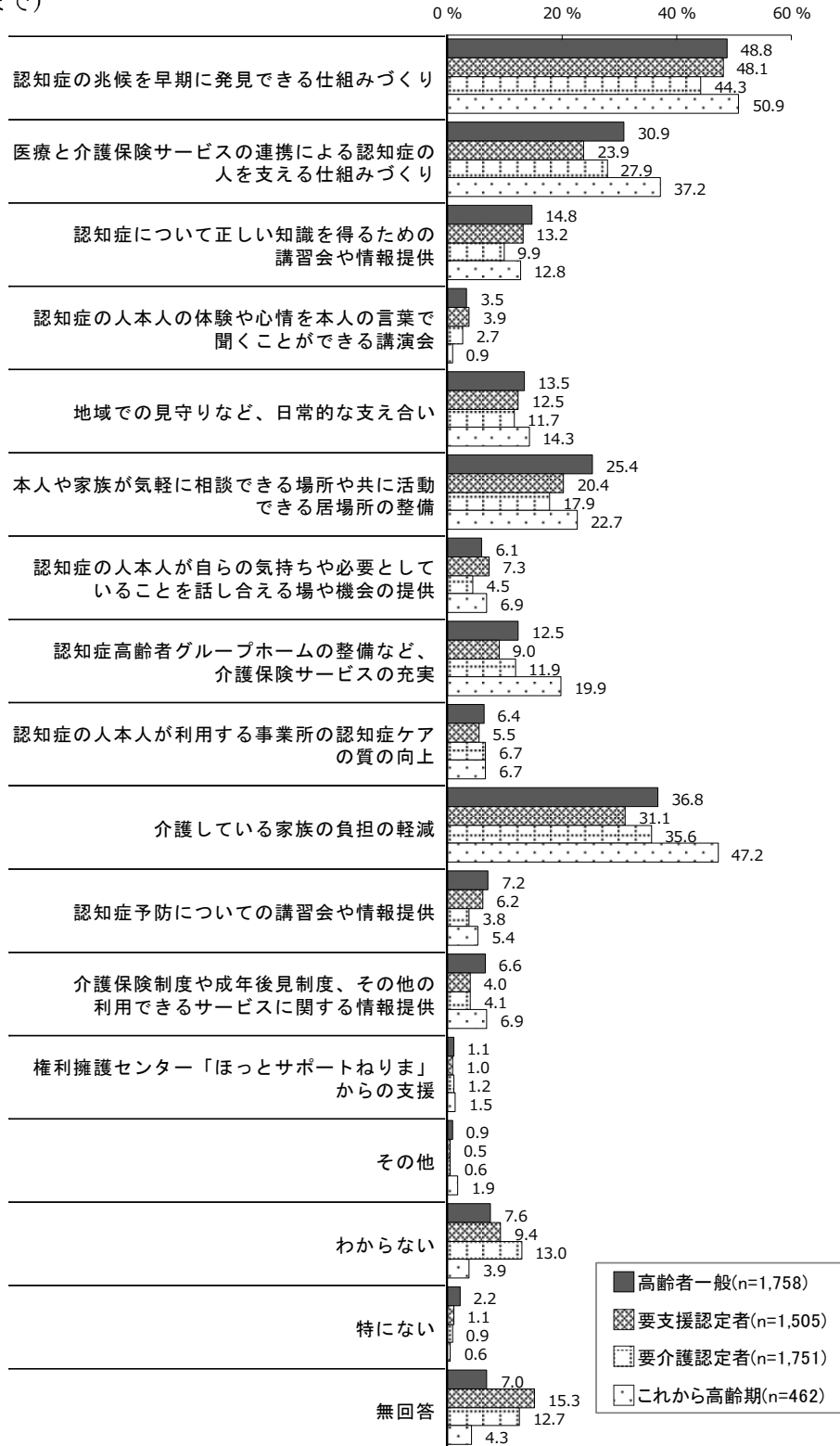


⑥認知症施策で必要なこと

○いずれの調査でも「認知症の兆候を早期に発見できる仕組みづくり」が最も高く、高齢者一般で48.8%、要支援認定者で48.1%、要介護認定者で44.3%、これから高齢期で50.9%となっている。

○これから高齢期では、「介護している家族の負担の軽減」が47.2%と他の調査と比べて高くなっている。

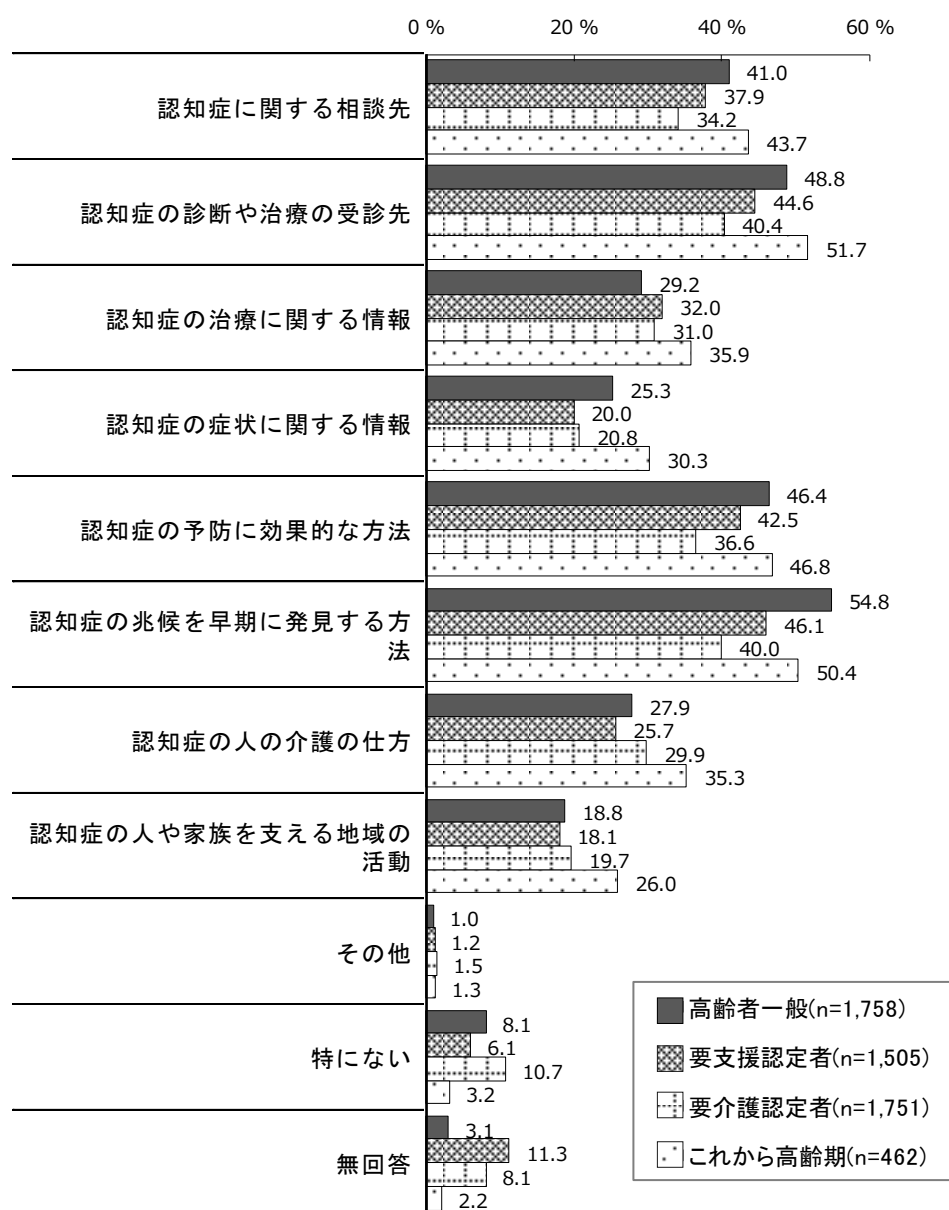
(○は3つまで)



⑦認知症について気になる項目

- 高齢者一般では、「認知症の兆候を早期に発見する方法」(54.8%)が最も高く、次いで「認知症の診断や治療の受診先」(48.8%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「認知症の兆候を早期に発見する方法」(46.1%)が最も高く、次いで「認知症の診断や治療の受診先」(44.6%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「認知症の診断や治療の受診先」(40.4%)が最も高く、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」(40.0%)の順となっている。
- これから高齢期では、「認知症の診断や治療の受診先」(51.7%)が最も高く、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」(50.4%)の順となっている。

(複数回答)

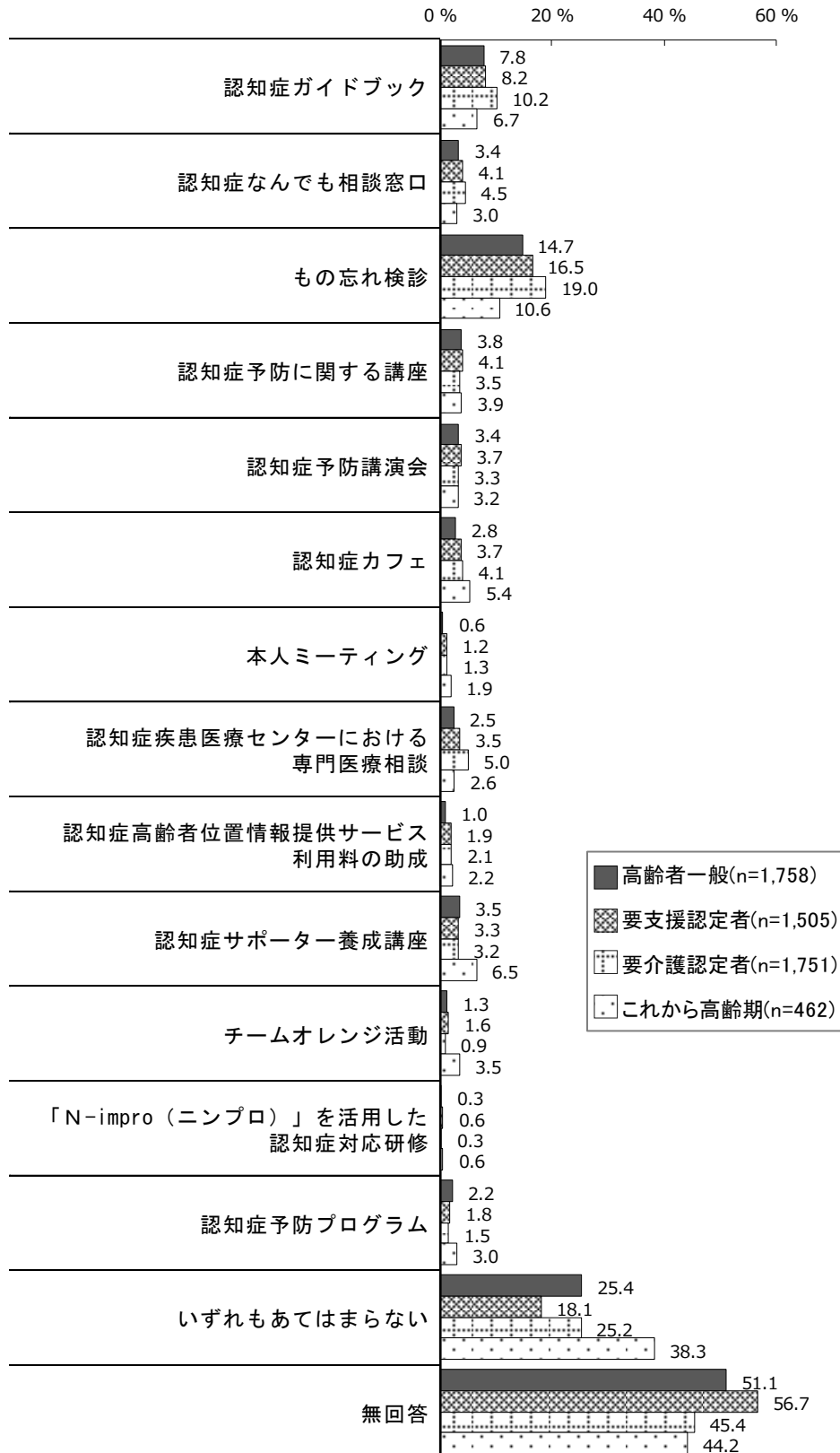


⑧認知症施策の利用状況・利用希望

(ア) 利用（参加）したことがあるものや知っているもの

○いずれの調査でも、「いずれもあてはまらない」が最も高く、高齢者一般で25.4%、要支援認定者で18.1%、要介護認定者で25.2%、これから高齢期で38.3%となっている。

(複数回答)



(イ) 利用 (参加) したいもの

- 高齢者一般では、「認知症なんでも相談窓口」(26.8%)が最も高く、次いで「もの忘れ検診」(23.9%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「もの忘れ検診」(18.3%)が最も高く、次いで「認知症なんでも相談窓口」(17.2%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「いずれもあてはまらない」(18.4%)が最も高く、次いで「もの忘れ検診」(17.9%)の順となっている。
- これから高齢期では、「もの忘れ検診」(35.9%)が最も高く、次いで「認知症なんでも相談窓口」(32.9%)の順となっている。

(複数回答)

